

2/25 (水) **業種間連携で活性化**

文化会館小ホールで「地方創生に向けた業種間連携によるまちづくり」と題し、シンポジウムが開催されました。この取り組みは那珂川町で行われている先進事例から、産業間の連携を強化させ地域を活性化することの必要性を学ぶために開催されたものです。パネリストからは木材加工とその熱利用を絡めマンゴー栽培やウナギの養殖をしている事例などが話され、参加者たちは熱心に耳を傾けていました。



3/8 (日) **講座生たちの祭典！**

矢板公民館周辺で7日(土)から2日間に渡り、「フェスタinYAITA」が開催されました。このイベントは、主に矢板公民館と農業環境改善センターの市民講座生徒による作品展示や発表、各種体験教室などのほか、子ども会まつりや図書館まつりなどが合同で行われているものです。

当日は、残念ながら小雨が降る天候でしたが、演奏会やプチサーカスショーなどには多くの人が集まり、参加者同士の交流を楽しんでいました。



3/1 (日) **春の消火訓練**

市内各地において、市消防団による消火訓練が行われました。この訓練は、3月1日～7日までの春の火災予防週間に併せ毎年開催されているもので、今年は主にそれぞれの分団が所属する地域の火災を想定し、情報の収集や、水利の確認、放水訓練などが実施されました。訓練後に行われた講評では、各地域ごとの特性を理解し、素早く行動することの大切さが話されるなど実りの多い1日となりました。



3/1 (日) **矢板武経営者の側面**

生涯学習館において「西澤金山と矢板武」と題し、歴史講演会が開催されました。県立博物館の興野先生から熱のこもった話がありました。会場には、様々な鉱山の標本や鉱山で使用されていた道具のほか矢板武氏と鉱山との関係を示す資料などが展示され、会場はあたかもミニ企画展のようでした。

参加者からは「矢板武氏の経営者としての側面がわかった」「栃木県の近代史に触れることができた」など、感嘆の声が上がっていました。



3/14 (土) **都会から棚田へ**

第二農場地区の兵庫畑で、今年も棚田オーナー制度が開講しました。棚田オーナーとは主に都会の方などが、年会費を納め、田植えや稲刈りなど年4回の活動を行い、農作業の楽しさや地元の方々との交流を楽しむものです。

この日は、じゃがいもの植え付け作業や地元農家のお母さんたちが用意してくれた手作りの昼食を味わうなど、笑顔があふれる1日となりました。



3/9 (月) **輝け！矢板の元気っ子**

矢板中学校において「矢板っ子輝き大賞」の表彰が行われました。この表彰は小・中学校の児童・生徒の優れた個性や能力、努力点を見出して表彰し、自信と誇りを持ち健全な心身の発達の助長を目的として、今年初めて実施されたものです。健康優良賞、体育賞、読書賞、あいさつ賞など11分野に分かれ、広く表彰を行いました。

今年は、9つの小・中学校で71人が該当となり賞を受けました。今後のますますのご活躍に期待します。



3/14 (土) **まちづくりプランを発表**

矢板武記念館西蔵で矢板武塾11期生による「まちづくりプラン発表会」が開催されました。約半年間、宇都宮大学の陣内雄二教授から指導を受けた今年のテーマは「若者のまちづくり参画」。「2020年には高校生によるまちづくりサークルの立ち上げ」を目指すという具体的な目標を掲げ多くの賛同者を得ました。その後行われた交流会にも多くの人が集まりました。

11期生は早速地元の高校生と共同で写真展を開催しています。この後4月12日(日)まで行われていますので、ぜひ足をお運びください。

